



ひばりヶ丘だより

令和2年11月15日 第118号



TEL : 36-5200 FAX : 58-6719 E-Mail : hibarigaoka@wh.commufa.jp

10月の行事

防犯パトロール

防犯防災部

10月2日(金)に防犯パトロールを実施しました。防犯防災部を中心とした評議員と、ボランティアの皆さまにご参加いただきました。

1丁目と2丁目に分かれて、代表者が拡声器で声掛けをしながらパトロールしました。安全で安心して暮らせるまちづくりの実現のため、継続的な活動にご協力ください。



《受付》



《拍子木を持って》



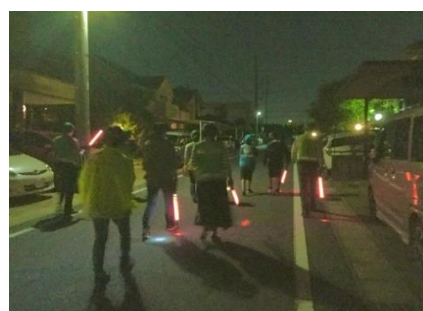
《誘導灯を持って》



《出発》



《1丁目》



《2丁目》



ご参加いただき
ありがとうございました

《パトロールを終えて、参加者の皆さまにお茶をお持ち帰りいただきました》

『その火事を防ぐあなたに 金メダル』

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐ運動です。

● 住宅防火いのちを守る7つのポイント ● 『3つの習慣・4つの対策』

☆3つの習慣☆

- ・ **寝たばこ** は、絶対やめる
- ・ **ストーブ** は、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ・ **ガスコンロ** などのそばを離れるときは、必ず火を消す

☆4つの対策☆

- ・ 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災報知器** を設置する
- ・ 寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品** を使用する
- ・ 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等** を設置する
- ・ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制** をつくる

社会貢献作業について

10月定例役員会議にて名古屋刑務所の担当者より「社会貢献作業」についての説明がありました。

受刑者による社会貢献作業は、現在、全国の刑務所で実施しており、公園、公民館、養護老人ホーム等、42施設が実施しています。

今後、年に数回程度、釈放前の受刑者（3名以内）による、ひばりヶ丘公園のトイレ清掃を検討しているとのことでした。

詳細につきましては、回覧にてお知らせいたします。

ひばりヶ丘ソフトボールチーム

10月は、三好ヶ丘コミュニティのリーグ戦とみよし市ソフトボール連盟の試合があり、コミュニティは2勝、連盟は2敗でした。季節も良くなり、楽しんで活動しています。

不審者…子どもたちまず逃げて

愛知で夏に増加、休み短縮影響か ■ 県警、対策指導

この夏、愛知県内で登下校中の子どもたちに不審者が声をかけるなどの事案が大幅に増えた。春の休校期間を取り戻すため、多くの

学校が夏休みを短縮して授業をした影響とみられる。県警は「とにかく逃げる」「大声で助けを求めろ」といった対策を呼び掛けている。



①不審者役から逃げる児童たち
 ②名古屋市立牧の原小学校
 ③配達バイクに貼り付けられた「見守りパトロール」のステッカー
 ④尾張旭郵便局

「ランドセルを投げ捨てて逃げてください」

10月下旬、名古屋市立牧の原小学校（名東区）の体育館で開かれた体験型防犯教室。名東署員らが不審者に遭遇した際の対処方法を教えた。

不審者から逃げる体験コーナーでは、人気テレビ番組「逃走中」のハンターに扮した名東区職員らが登場。児童たちは背負っているランドセルを投げ捨てながら20秒を走って逃げた。ランドセルを背負ったままでは走るのが遅くなることを体感。「20秒」は、たいはいる不審者が犯行を諦める距離だという。

このほか、「助けて！」と叫ぶ声の大きさを測ったり、それぞれが持っている防犯ブザーの点検をしたり。楽しみながら防犯対策を学んだ。

守山署は10月、管内の尾張旭郵便局（尾張旭市）と協力し、「見守りパトロール」のステッカーを作った。郵便の配達車や配達バイク計75台にステッカーを貼り付け、配達員らによる見守り活動に役立てている。尾張旭市内では、5郵便局が「こども110番の家」に指定されているという。

県警によると、不審者による子どもへの声かけやつきまとい事案の認知件数は、昨年1年間で1,209

件。平日が多く、午前7時台が96件、午後3〜5時台が679件で、半数超を占める。

今年には県内の多くの小中学校が、夏休みを8月の2〜3週間程度に短縮した。

県警によると、7月の認知件数は140件で昨年の約1.4倍。8月は78件で約2.3倍に上った。県警は「夏休みの短縮で増えたのではないかとみる。休校が多かった3〜5月は、昨年の半数程度だった。

県警は今春以降、新型コロナウイルスの影響で防犯教室を開けできていなかったことから、子ども向けの動画もつくった。不審者は普通の服装で、しつこく話しかけてくる▽走って逃げ、大声で助けを求めろ▽防犯ブザーは手の届くところに付ける――などと紹介。担当者は「親子で見ても、とっさの時も体が動くように練習してほしい」と話している。

（高柳実）

今後の予定

防犯セミナー 11月21日（土）おおよし交流センターにて

写真の中に、皆さまやお子さまの写った写真が掲載されることがございます
 不都合がある場合はお知らせください（広報部）